

当院では神奈川県衛生研究所倫理委員会で承認された下記の臨床研究に協力をしております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ありません。

研究課題名	急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究
当院の研究責任者	三牧 正和
他の研究機関および各施設の研究責任者	神奈川県衛生研究所 所長：多屋 馨子
本研究の目的	・2022年に検出が増加したエンテロウイルス D68の影響を調査し、感染症発生动向調査に届出がなされた急性弛緩性麻痺(AFP)症例の捕捉率を把握すること ・2019～2022年に発症したAFP症例の病態を解明すること ・2015年、2018年に多発したAFP症例と比較検討を行うことで2019～2022年に発症したAFP症例の原因ならびに病態解明に繋げること ・AFPの病態、治療方法、麻痺の転帰等を調査することで、予後改善に繋がる治療法の構築を目指すこと ・世界保健機関(World Health Organization: WHO)が実施するAFPサーベイランスに寄与すること
調査データ該当期間	2019年1月1日～2022年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	1) 2019年1月1日～2022年12月31日に発症したAFP症例について、日本小児神経学会の協力を得て、小児神経専門医を対象に全国調査を実施します。 2) 収集データは厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究(22HA1003)【研究代表者：多屋馨子 神奈川県衛生研究所長】」研究班で解析されます。 3) 解析結果は厚生労働省に報告され、学術集会や学術誌および研究班報告書、厚生労働省の会議等で発表されます。
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	各施設より取得する情報には患者様個人が特定される情報は記載せず、研究責任者の所属する神奈川県衛生研究所へ集約されます。集約されたデータは、厚生労働科学研究班(上記)の研究者にも共有されます。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様個人を直接特定できる情報は削除されており、患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究(22HA1003)」の研究費を用いて実施されます。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：03-3964-1211 研究責任者：三牧 正和